

## 主な一般会計補正予算

(単位：千円)

### 歳入

地域の元気臨時交付金	20,352
豪雪対応地域福祉特別対策事業交付金	468
地域支え合い体制づくり事業費補助金	2,465
農業経営等復旧支援対策事業補助金	1,000
財政調整基金繰入金（繰り戻し分）	△24,869
町債（災害復旧事業債ほか）	29,006

### 歳出

灯油購入助成費	1,820
農村環境改善センター浴室配管換工事	1,155
観光用体験型ヤナ運営委託料	△1,500
一の渡2号線道路改良設計業務委託料	1,500
公共下水道特別会計繰出金（特環下水分）	2,390
小学校施設用備品購入費	1,300
スキー場防護ネット・支柱購入	1,541
災害復旧工事費	2,950

ています。  
歳出については、総務費にパソコン機の更新費用のほか隔年実施されている在京藤里会の総会への参加経費を計上しています。また、町制施行50周年記念事業では、記念式典などの主要事業は終えておりますが、ふじさと地元学の冊子及び町章の作成経費を計上しています。  
民生費では、地域において支え合う交流イベントなどの活動をサポートするための事業費のほか、高齢者世帯や障害者を支援するため、灯油の購入に対する助成金を主なものとして計上しています。  
農林水産業費は、災害復旧関係に対する単独補助金及び作業道開設費を計上しています。

土木費には、町道の改良工事に係る設計費のほか、下水道特別会計への繰出金を計上しています。  
教育費には、小中学校及び幼稚園の施設用備品、新設した学校給食センターの業務用消耗品を補充するほか、スキー場の運営経費として利用者の安全を確保するため防護ネットの購入費を主なものとして計上しています。  
歳入については、国県支出金では地域の活性化及び雇用創出のための「地域の元気臨時交付金」を計上しています。  
町債は、交付税の財源不足に対応するための臨時財政対策債のほか、災害の復旧事業に対応するための災害復旧債を計上しています。

# 交通死亡事故ゼロ 4500日達成

12月20日、当町の交通死亡事故ゼロ日数が4500日を達成しました。1月8日には、役場議場で町交通指導隊や二ツ井藤里地区交通安全協会関係者が見守る中、交通死亡事故ゼロ4500日達成表彰式が行われました。

式では、下山山本地域振興局長が県知事からの表彰状を、菊地能代警察署長が秋田県警本部長からの顕彰を、佐々木町長に伝達しました。

下山山本地域振興局長は「平成13年8月以来、12年と4か月にわたって死亡事故が発生していないのは、東北の町単位では最も長い記録。この素晴らしい記録を作ったのも、町民の高い意識の成果だと思う。今後は5000

日達成に向けて地域が一体となって交通事故防止に取り組んでほしい。」と述べられ、菊地能代警察署長は「平成13年8月以来、ここまで死亡事故が発生していないのは、交通安全に関する深い理解と交通事故を起こさない、遭わないという高い意識が広く住民の間に浸透されているからである。白神山地は自然が作り出したものだが、藤里町の交通の安全安心は町民の皆様によって築かれたものである。このたびの記録達成を大きなステップとして、引き続きさらなる安全安心な町づくりに一層の期待をしている。」と祝辞を述べられました。



県警本部長から顕彰

これを受けて佐々木町長は、「町民のマナーを守りゆとりをもった交通安全への心がけと、交通指導隊並びに交通安全協会の日頃のご尽力そしてまた秋田県をはじめとする行政機関、警察並びに関係各位のご指導ご支援の賜物であると深く敬意と感謝を表す。平成13年8月26日以降4519日」と秋田県の市町村記録を更新中であり、今後も関係機関の皆様方と連携を図りながら交通安全活動を推進し、事故・違反のない安心安全な町づくりのために町民一丸となって取り組んでいきたい。」と謝辞を述べました。



交通指導隊のみなさん